

平成 3 0 年

高 松 市 教 育 委 員 会 1 2 月 定 例 会

会 議 録 (抄本)

1 2 月 2 1 日 (金) 開会

1 2 月 2 1 日 (金) 閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	赤 松 雅 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	石 原 徳 二		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	南 岳 志		
総合教育センター所長	篠 原 隆 則		
総務課長補佐	西 村 福 和		
総務課総務係長	牧 野 小 織		
会議録署名委員	葛 西 優 子		
事務局担当書記	藤 澤 由 美		

【特記事項】 傍聴人なし

## 議 事 日 程（12月定例会）

### 日程第1 報告事項

- 1 平成30年第5回高松市議会定例会答弁要旨について
- 2 第16回「かがわ教育の日」のつどい・「第2回 教育フォーラム in 高松」の開催について

【平成30年12月21日（金） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に葛西委員を指名。

日程第1 報告事項

報告事項1 「平成30年第5回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、平成30年第5回高松市議会定例会での教育委員会関係の質問及び答弁について報告。

<質疑>

- 委 員 受動喫煙防止対策のため、喫煙所設置場所を見直す考えについてですが、学校周辺の喫煙所の設置状況を把握するとありますが、微妙だと思います。病院も同様に、敷地内での全面禁煙を実施していますが、学校敷地外での喫煙所を設置することができるかと言いますと難しいですね。校門の外で喫煙している先生を見かけたことがあります。
- 教 育 長 喫煙所ではありませんが、携帯灰皿を持ち、外で喫煙している先生がいます。風向きや、喫煙後すぐに教室に入りますと、教室に副流煙が入ることがあります。
- 委 員 セカンドハンドスモーキングと言いまして、例えばホテルなどに入り、煙草の匂いが残っていたりしますと、これも受動喫煙になります。先生の服に付いた煙草の匂いを子どもたちが吸いますと、受動喫煙していることになります。全員の先生に禁煙していただきたいところですが、難しいですね。市役所はどのようにしていますか。
- 教育局長 喫煙所が3か所あります。
- 委 員 敷地内禁煙ではないのですね。一般の市民の方も来庁しますので仕方ないかもしれませんね。最近、電子たばこがありますが、健康上は普通の煙草と同様であり軽減されるものではありません。
- 教 育 長 学校敷地内での全面禁煙につきましては、本市では早くから取り組んでおり

ますが、受動喫煙に関しましては難しいところです。

- 委 員 学校周辺の喫煙所の設置状況を把握するとありますね。
- 教育局長 各学校により違いますが、設置しているところは少ないと思います。
- 委 員 子どもたちを教育するのであれば、その子どもたちを思う教員は喫煙するべきではないと思います。喫煙所を敷地外に確保するのは少し違うように感じます。
- 教 育 長 確かに、教員は禁煙するべきであり、禁煙防止教室に通ってはとの声もあります。
- 委 員 私は15年前、禁煙外来で止めました。
- 委 員 生徒が学校にいる時間の休憩時間などに喫煙しているのですか。
- 教 育 長 学校敷地外で喫煙するようになります。
- 委 員 生徒が学校にいる時間は控えるようにしていただければと思います。
- 教 育 長 教員の喫煙者はかなり減ってきております。現在、学校教育課にいる職員は全員禁煙者です。子どもたちにとってのことを今後も考え、どのような対策ができるかを考えていきたいと思っております。

また、特別支援教育に関する質問も多くありました。総合教育会議でも協議し、その後、市長部局の福祉部門との連携を図っているところです。

- 委 員 特別支援教育に関心が高いことは、とても有難いと思っております。インクルーシブ教育の仕組みは分かっているものの、普通の小・中学校で特別支援学校のようなサービスが受けられるかといいますと、そこまではありません。障がいに応じたサービスを求められた時、提供できるかというところが悩ましいところではあります。インクルーシブ教育を進めるにあたり、特別支援学級の教員増員が必要だとよく聞きます。特別支援学級は障がい種別ごとに、児童生徒が8人までの在籍となっておりますが、そろそろ見直しの必要があるとも聞きます。
- 教 育 長 児童生徒が8人に1人の教員という人数につきましても、国へ要望しておりますが、国からの回答は、特別支援学級が特別支援学校より手厚くなるのは、本末転倒した考えになるとのことです。特別支援学級の方が軽度の障がいであるため、特別支援学校の教員より少なくなると言われます。就学してくる児童は、特別支援学校相当である児童が増えていると伝えていますが難しいです。
- 委 員 軽度の障がいであっても、特別支援学級との交流には人手が必要であること

に変わりはないです。

○ 教育長　　そうですね。

---

報告事項2 「第16回『かがわ教育の日』のつどい・『第2回 教育フォーラム in 高松』の開催について」

総合教育センター所長から、2月9日に開催する「教育フォーラム in 高松」と「かがわ教育の日」のつどいを兼ねて開催することを説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---

午前10時15分 閉会

---